

新京室町二丁目 一大阪住吉属アペノ筋四 版住吉属アペノ筋四

聯著 しく 互譲態度 その眞意那邊にあると

添洲國當局ソ聯

側に

受あり要論の反對を極度に関れる が、これにつき確認するに、蔣介 が、これにつき確認するに、蔣介

第1る等極めて潜極的態度さなり ・解より上海障着さ共に病気未回復 州より上海障着さ共に病気未回復 がより上海障着さ共に病気未回復 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 のかり、 のかり。 のかり。 のかり。 のかり。 のかり。 のがり。 のがり。 のかり。 のかり。 のがり。 のがし。 の

立往生の黄郛氏

上海の自邸に引籠る

【上海十四日登園通』 遊客氏の微 一般的態度に開発して黄氏の整職能 が再燃したが勝。 注解氏さしては が再燃したが勝。 注解氏さしては が再燃したが勝。 注解氏さしては

が像想されるに至った が像想されるに至った

淋疾慢性症に

よび各重役を會見五分のの 時端級本社な訪問、正副

ち離去した

混亂豫想

味的態度を執う初めたかについては我外務監局とその興意の那連にあるかを注意してゐるが、監局の觀測によ漢、北道讓遊問題の再贈等大小證經報の將解作用が観響さなつた、献してソウェート側が最近に至り何故十五日發 日蘇外交關係は窮田外根の養質なる手法により觸次平常旋緩和に襲き来つたが、統中滅脈入札問題、ペシ

りがない形勢を示すに至つたので、ルーマニアが反對し、折角昨年倫敦經濟會職で獲得した西歐緯陸國との平和保門人は、ボーランド、ルーマニアが反對し、折角昨年倫敦經濟會職で獲得した西歐緯陸國との平和保別を結び聯盟加入實現を策してゐる、然をほドイツ、ボーランド間に平和協定成立するや、彼かにボーランドに獨立に暴力列國との不可健條約締結を外交上の主目標さして努力してゐる、このため米蘇の復交獲得、歐洲接奧國さは十二次、五ヶ年計畫の完成により國力を充實するまでは絕對他國と爭はざる方針のる、語5

所消を 請願

機能さに至ったものである

降りたものゝ遂に立住生の餘をりたものゝ遂に立住生の餘

衛生紅視察團

問題協議

運輸機關統一

三城の騒音さ、熱氣に、二人共、直、経行に案内して貰ふさ、凄だい機

は、「解らないよ。お母様の寫真なん」

理想品なり

携帯至便、用法平易にて安全なる 尚ほ この三本入は豫防用としても

で、見かけたさ、云ふばかりにす. 一愛の絆を選く(五)

「だって、死ぬ原因は少し

る不安が歌血のやうに振がつて来

志

村

も先づ之にて御實験の上、効力の認識を切望す。 佐服にてして新程費したるもの、慢性及初態染にその資價を問ふために、普及品として特に階格をその資價を問ふために、普及品として特に階格を

(128)

三本入(クリコム付)

一面村 金六十

ウラルゴール短管

る「 を で 変とが事業対策第の説明は が 変とが事業対策第の説明は が 変について の高級事態機脈統一間節について の高級事態機脈統一間節について の高級事態機脈統一間節について

王氏陸村三日 東京十四日年後林屋根を旅間と北支間 な残骸でも、出て来はしまいかさ 「うむ。君の處へ行くみ がいっき會談した ち其處を出てしまった。 るから、ふさした出来 ち其處を出てしまった。 るから、ふさした出来 ち其處を出てしまった。 これない處へ、 ち其の時間は、恰及四時半を示。 の眼にふれない處へ、 ち其のの時間は、恰及四時半を示。 の眼にふれない處へ、

室に丼な取寄せそのま、会議な観響に丼な取寄せそのま、会議な観

め十三名は十四日夜九時四十五分一周郷遺跡覚聴々見謝田園橋氏を始山

ウラルゴー

0

特長は

東京縣登列車で出登した

町六五で云ふ、山下さんの家に、

船田三菱理事

行來滿

方の武力强化といふ根本方針を變更することは絕對に無く今後西歐さの親藍保護及び聽暖ぶりを見せた機東政策の腰を折り、點目立讓方針に襲じたものに過ぎれ、關って蘇聯外交政策が西歐の

年目に

阿片に關する

訪問

来演したが、別に企業、投資等を知らぬのは耻ださ思って約三週間の豫定で漫然視察のために地ださ思って約三

十五日入港の香港丸で来連続中船の圏氏は

日午・七時四十分着列車にて尾諮遊氏(關東軍参謀長)十

氏(關東雖警戒)同十

菱合資理事份田一维、同商事理

▲宮島幹之助氏(外務省場託騰學 博士)十五日入港天津丸で來連 将出口い子さんはじめ一行八名 周上帰連

大の放尿時まで敷時間、尿道を粉束なるを以て之を挿入すれば

南にまで殺菌作用を答む。 粘膜細胞下に潜在せる慢性淋

内に於て徐々に溶解浸潤しつ」

用は持續時間に於て普通の洗故に ウラル ゴールー本の作

様、注入に教倍し、

其の殺

刀は從來の內服、注射に比し

▼その主薬ウ

ラニン銀の内容が

宮島幹之助博士來滿

打開點を發見せず

北鐵第三次中間會商

歩も譲らず

四尾參謀長談

は洗着さの食話 記者 軍隊の平時給奥賞施の時期は決定したか 既 現されるのでな 野軍 まだ研究中で決つてゐない 現に角給奥を平時化するために は完全が要る、然に官舎ごころ は官舎が要る、然に官舎ごころ は官舎が要る、然に官舎ごころ は官舎が要る、然に官舎ごころ は官舎が要る、然に官舎ごころ は官舎が要る、然に官舎ごころ は官舎が要するのが事實だ

P氏(天理教滿洲傳導 同上來連

(日本アスペスト

(日本海負組合大連去

ツショ運動排穀

に出来てる

迎へを受け直に途東ホテルに入つ小川大連市長等官民軍都多数の出

ン職がニャニャと笑って手を差って他べた。何人さ無味の悪い。 て 協和外交よ、手管に心評すなる 輕 0 0 自

いかれ」 「うむ、だいじょうぶ。そんな馬 鹿な漢伽をする縁子ちやないから 魔迹だけで、概も出きうよ。きつ

「このま、鍵子

僕は、非議に歩

同で陳選手だが「北平で腕東は カタ達ふアルナイカ。 したら、関の虚へ知らせて下さ たよりがあり

は、主席は名刺を置いて愉慢さ を求めてよいか、皆宜見鑑がつか なかつた。 村山は、心からきう云つた。

兄や村山の

▲中國。四國東豆腐販賣者滿鮮視 祭團一行十五名 同上 祭團一行十五名 同上

ほんこん丸にて来

き時は歌回の使用にて共に真く奏効す で、その悪日にて、また感染後日尚ほ選 は、その悪日にて、また感染後日尚ほ選

快治療を早からしむ。

の淋疾と雖も本療法に依り

のみならず機防用として農家に投棄する最近ウラルゴールの短音を淋疾の治療用

附

ウラルゴール種類及定價

煌 管 于宫野宫及少女辟用 一刻感染用、蜂防用品 当本人クリーム の円大の

0 0

東京市日本機區本町三ソ

女子尿道及 駿用・一郎三付 一 和の時は直接側註文を乞ふ、 和の時は直接側註文を乞ふ、 男子操性固疾用 十本人のリーム ニューニー

發賣元

凱旋將兵の出發

白衣の勇士と共に

李鬪は日本有望か

證明を求む

日軍總出動

極東大會第四

彼は一時間の峠気を終へて左 秋十一月海軍飛獅所を離れた

運轉手でも八千圓ごは 大連の追悼會

にの第一歩さして野佐腕真の絵典、 たの世様が顧本衆職長で二十五萬四野があり総府さしても絵典の合理 名、その選戦金が三百三十萬國、野があり総府さしても絵典の合理 名、その選戦金が三百三十萬國、

備人の自動車の運転手で

全日本を意識して所謂非常時化の

歡迎を受けました

改正で共に從来の寛舎は

ふ二周年

不堂翁の墓前に

額づく大庭少尉

州外チー



人港の天津鬼で帰浦し魁中久保田の一行は恙なく重備を駅し十五日

福々ご 既報の如く

石の無志家が のたが左部の諸二常選十五日数

中央国旗信

院長醫學博士

居人四〇 三 法 院 防 院

鳴小路(電氣遊園前

何千枚芦至揃了店

犯者を檢學

事件更に

注目される捜査の進展

も失敗

自四十七)は今回強く郷水港

聞くと見るとは大達ひ

波來少年歸國に

愛採縣商業生

都高 賀木

靜新

凱旋將兵へ

夏蜜柑を贈る 十七日は茶菓の接待

滿日婦人團の活動

山東馬賊捕はる

が大連方廊に機能入り込んである。首名は山常県の徹底前誤原に迫ばれた雁城の七名で

一味七名小崗子で一網

打盡

た一味物二

 (\mathfrak{Z})

· 天気予報 R東の風晴一時墨 十六日

桂章太

主演

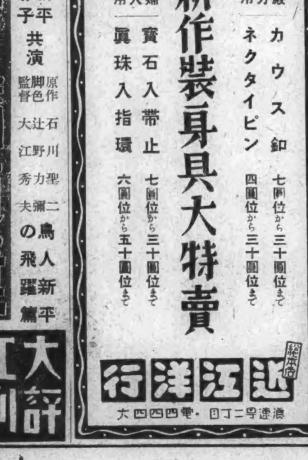
木下双蜂子

各地溫度

大相撲六日目取組

の対性に辿ば

用方殿 ネ カ クタ 石 ウ 1 ス ピン



の税關吏俄か成金

福本税關長は廿五萬圓

マリ貴ふ退職金で

てある

もの

はいいませんがあるに手にいると

會社の

件で確がれてゐる電

凍豆腐販賣者 の滿鮮視察團

篤志家五人

ノル君は勿論の罷つたのもあり、

へ近々入籍

係官も「変る世間にな

五次であ

業

御

し候私

滿鐵運動會支部

九年度役員發表

昭和九年五月十五日 | 日此段及蓮告候也 | 八日科専門の診療に從事致る

痢症に

学を糖衣ア

仲居入用

話九六三六番

星ヶ浦





連大一場工)(三町後越連大 六四三二二節電

春の御宴會は

梶田

小兒科醫院

越後町若狭町角(電六七五〇)

お花見を覘ふ 滿人泥棒捕はる の食卓 すてきにおいしい

玉

煮

市と田麓の佃煮

天下に怖い者のない思樂さん。

明き潮、滿ち潮……。 見下ろす人は、その干満の潮に乗って、いろいろの物が流れ寄って

お鍵乳

お娘でこんな不作法な居すまひとを重ないきながら、しきりに肥

一番の夏川解江一聖川徳武教と「株た館で

メトロ映畵



大人選――俳質の侍にちを始め、なかに、そんな何百人、何千人の何千人の何千人の何千人の

常盤座が上映

ゼンキンス機使用

ワ社の招聘具體化す

盆興行目當てに松竹衣笠

日活伊藤兩監督が

小映画と演藝。

新興キネマ超々

15ななる。 内外第一品

七之助

*吾輩はカモであ ゆりかっ 50

れて、綺麗な砂器で日間ぼつこない。上げ帯に打ちあげら

業光内山·演主回一第社入子節忍紫紫が・作傑ため輯を粹の術藝畵映が督監男喜巳瀨成銳新・作原松小村北・載所紫紫紫

!!んせまりあはで畵映並月 > のもれ入仕 > のもかい!!作名るれくてい導をタナアへ地境の我無の賞鑑畵映・演助・一新守日

道王れ護

切封日六十

最國建國洲滿●別特式兵觀大の初●映上

番〇〇〇五番七四七三話電

意子晶早千·夫敏林·耶二長林**警監郎·作原二寬山小·載所グンキ誌雜

れあ用利御を券引割の行發店當

だ譚奇俠義烈痛の士劍名む絡に討仇の子孝たれらへ傳に間巷間年曆明・演助・哲井坪・郎四重林小

拓務大臣の訓示

地方長官會議で

伊太利政府





攤購 横井建桑事務所

肺門淋巴腺炎及裝高不良呼吸器及消化器慢性病

電話六五六五番 血壓及婦人內科 肋膜及慢性諸病

済生医院 大連市三河町二 院長 鳴尾 直人

意見書內容

滿洲採金會社創立

けふ新京で創立總會

開 はなるらしい、日溝經濟の脈係 を記さられる時代様の現れだ。 総動戦自然にさつても、衛士に をつても決して便益ではない等 さつても決して便益ではない等 でづれにはよ過去の行無りを棄 でづれにはよ過去の行無りを棄

市

對 製 現物 10m へ0 10m へ0

品質升目確實 配達迅速 海嗎呀因啡片 治療開始 加醫院

綿糸昻騰 白光變動相場は

洋服類舊變

通商戦の激化に從い諸

綿業最高

棉花會社の獨占に

在滿同業者も反對

内地側の陳情運動と呼應し

手買付見合せ建議

阪神大連航路で

大汽、商船近く協定

具體案作成に着手

催の漆州親善使節線

連鎖街の間屋大島屋へ 電二二〇〇番

(四)

*會社の立場

むづかしい運用

● な親へて重役會議に附張され ごろはたさび消線重役會議を通 過じても宜こと「こ

貫地踏査を主に

萬全を期す

満鐵の收穫豫想調査

有難き御言葉を賜はる

御召列車奉仕の

榮ある運轉士選考

滿鐵の奉迎準備委員會

意見書を上程審議

世事會議題 麻藥條約案上程

滿洲郵便問題も併行審議

野の凱旋──同七時着 厚、

祖始の險保率低

除保い安一本日

フ氏報告と支那政府



が放に支に除べることとする。 構別において可収有力な製版であるが放に支に除べることとする。 権別において可収有力な製版であるが放に支に除べることとする。 なが放に支に除べることとする。 ないないが始めてである。其の後 を対した正十年、山東源市に緊លった。

· 型風宗、三元始紀太乙老祖など、

文

血を見る騒ぎ

米西海岸埠頭仲仕等の罷業

邦船積荷役捗らず

年後四時、大内議長、若月融議長 別独上原業員、一般市政質問さ 大内議長、若月融議長 少と促進に方確な入れられたい 以下二十四議就、小川市長、開野 さ希望を述ぶ 大いて大連市バス市警の意見書を で、で大連市バス市警の意見書を はこれが促進に善義せるや、今

日六十月五

經濟上 の細則に取る脚

見書を提出したが順來小川市長 立る促進に方強な入れられたい さ希望を述ぶ

る點については英本属さも協議一至つた日本に對し最惠國待遇を集る一主が答し限則的に膨解成立するに見た遵ぐるまでに至ってゐない」と解答し限則的に膨解成立するに 希望條件づきで 戶別割案可決 大連商業銀行賦課問題保留

歌坂に目下来朝中のレーサム外根 十五日の閣議に於て最近の外交情 「東京十五日登桐道」寮田外根は 閣議に報告

ーサム外相に奥へた印象さに関して管見した観末並に我が日本がレ

大連市會續

常で衝役をやってるる 勞働不安濃化 置を講ぜられんごさを望む

米財界惡材料

| 東京特備十五日製|| 気港単純価 | 簡素が行はれ水光素内組合、| 川噴のごさくロサンセルス出帆の『東京特備十五日製』 気港単純価

信着さなつた者であ

八日會

生徒募集

許特 長特の型新最 皆好华倍

映書のて開東州 五月 五日 五日 五日 五日 映 陆 空講演並 を演習の趣旨徹底 ー七日より州内各地で 端として左記の日割により講演並に底のため我社は各種の計畫を順次遂 畵

李技術を中心さする座談館を催す

英和タイピスト事院 英和タイピスト事院 内鮮滿塞有名文具紙店及デバートに有 **砂**模元 大阪市東區平野町二丁目 株式合社 福 井 商 店

(版內市)

片貿易調整は同感

◆父兄會について適日一父兄の投 動があつたが、父兄會なるもの の本質な際際してゐる様である の本質な際際してゐる様である

父兄會の本

通商條約復活に賛成

ムーア氏[經濟顧問]來栖局長會見

所委成都に附近することになり左 地正の傑(野歌)は諸弘指名の帳 が正の傑(野歌)は諸弘指名の帳

日濠親善專門交涉

交通行政ご

大衆常識

ら見て楽師すべきだが、更に内

擊城班 田中義

る列車は鮨詰め

満人どの利害衝突を避けて

好適な移民地を設定

九萬

得利寺煙草耕作 耕作組合發會式舉行

奉天の銀座街に

大アーチを建設 春日町内會で計畫 右について地方事務所

遊びに行くのでは ん、橋本刀自、

兵隊婆さんの秘書に

明朗な二人の女性

* 総にて婦人館戦事その他兵士ホー 近代女性、水泳はお機能・お婆さんは十四日午後二時報安奉 実後YMCAで栄養が月 が連れだつて來奉もた事である、 して久子さんは九陵機

の理能長さ天津に配簿した

鐵嶺音頭を 龍首山は 日曜年

抗日義勇軍となり

満洲國のため働く

英雄を夢みる無智な青年

入地も呼應

別居したら亭主を捨てる

捨てられたら姦通の告訴

不況の生んだ淺間しい話

寬甸縣安東ご提携

優勝旗獲得昭和製鋼研究所 鞍山軟式野球大會

後援のオーリにB組二十四チームA組九チを飾った帳一月二十九日のB組第一回戦を皮

鞍山の市場通

延長に決定

塩界問題未解決の質め級機器え

*整整に機能監視所を膨慢するこ
ので支那球所では六月十六日より

と、「人心神に起く眩」、その端氏は近一海のホンコン戦場に出 三日の晩業屋入りの際、突然一級の雪め石灰の包みを纏に掛けっけられ、それが雪め隠聴さも失明



東の如きは毎日 東の如きは毎日 東の如きは毎日 経済がでも長白駅に入込む者がまて ・変東午後八時 ・変東 ・変素がでも長白駅にみるが安東 ・変素でも光度では先住満洲人の既 ・変素でも大きのであるが安東 ・変素でも大きのであるが安東 ・変素でも、またで、こに満人での ・変素でも、こに満人であるがます。 ・変素でも、こに満人であるがます。 ・変素でも、こに満人であるがます。 ・変素でも、こに満人である。

の三十戸の餓戯である

北支の問題なぎ

餘り騒ぐな

川上正金支店長談

大賑ひ

新音二十名の路響を採用すること 「採用することへと四十名は一般 「採用することへと四十名は一般 「採用することへと四十名は一般 「採用するごとへと四十名は一般 「採用する部で来る二十日鑑解にお 「大子を受料試験で装一の篩にか 「大子を受料試験で装一の篩にか 「大子を受料試験で装一の篩にか 「大子を受料試験で装一の篩にか 「大子を受料試験で装一の篩にか 「大子を受料試験で装一の篩にか あることへなつた

東邊道縱貫鐵道 國線路警採用

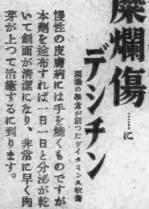
爭論して刺殺 人の仕業ではないかさ思

であるので、 では、かの概名は既和な疾病を をでいるの概名は、 では、かの概名は、 では、かの概名は、 では、 がの概名は、 では、 がのでは、 のでは、 のでは、

[動動を整んであたが不滅に紫られ ・ 1人称して正式の夫婦さなつて雑 ・ 1人称して正式の夫婦さなつて雑 ・ 1人称して正式の夫婦さなつて雑 ・ 1人称して正式の夫婦さなって雑 ・ 1人称してあるためである。

【無順】無順西六旅通り鈴木時間 に時便一千餘國の婦人用時歌十一 に時便一千餘國の婦人用時歌十一 を養見し直に緊察に離出でたが、 他人は末だ潔據に至らない、歌響

此の缺乏してなる。 ならない理屈である。 をが弱くなり、疑素に確ると をが弱くなり、疑素



日同地教新京へ向ふ答・二十四日自動車で継ば、二十四日自動車で継ば、一行十一名・大田ののののでは、一日のののでは、一日ののののでは、一日のののでは、一日ののでは、一日ののでは、一日ののでは、一日ののでは、

各あられ、東白十字堂

光榮にたが感激

一にて研究優勝す、時に五

振察決するさきは何時にても

上田民間代表歸る

井戸浚ひの人夫 梨樹縣の 天然痘積發

救ひ入つてまた窒息

瓦斯で窒息死亡

時計を盗む

脚氣に二元療法

一近代的 厨房設備 から!!

永庭での衞生訓練 足とびに、夏 家庭

これだけは是非ご注意下さい 學童を持つ親たちへ

歌を持つて居ますが悪は月外や

程はして数色が、間もこの変色が大

つた位であるが、粉



疼痛を感じる 脾腹から腰

つり、鹿民の黄力

利休の着てなった茶色の衣裳から

東京支社 入りであった業人 新刊紹公

名古屋中區佛教協會、價十銭)

書籍相談部











劇場と流行

作家。からり家、自素などが能行 その他素素、かはらけ茶、すゝ





世界・空の旅









大谷養商店





うに載せられて

のものさ云へる

ルのですから腹部をさせるか、コ いのですから腹部をさせるか、コ

セルの單衣の着付

若葉かけを押しせんの単 ゆつたりと

石井木 かげを得くせルの単 その代り下手に着るさまるで機の 先づ曲線第一主義

の安い証券からス Fを共に大衆南

はたり有の呼吸から中胚にかけて来より有の呼吸からはしたり悪したり利後に曲をしたりでしたり悪したり利後に曲をなってすが昨年 坐骨神經痛のや うに思はれます 文面だけではつきる

をのころ京都の町はづれて、職業 郷底なを定めた機名等の体験であり が、ちざる機名等の体験であり が、ころでは、東都で検り

模範ユニホー

原洲日報社

エペック(四分)抽



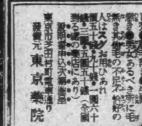












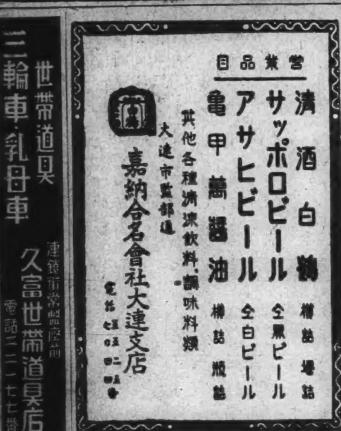
毛生え乗り



特約店



日本精薬写











洗顔のに

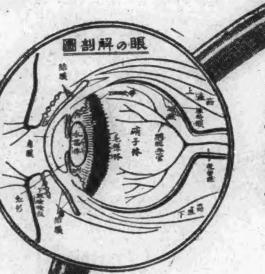
(129)

大级

病

日

高



方處士博逸獨上井 上博學藥尾中

0

服科楽は必ず以上の諸條件に合致したものでなければなりません。 服科楽は必ず以上の諸條件に合致したものでなければなりません。 服科楽は必ず以上の諸條件に合致したものでなければなりません。 のようないでは、というない。 ないでは、ないでは、というないでは、 が果が多く、従つでこれが治療に用ふる服薬は殺菌、防腐・收飲、消炎、 類果が強ければ強い程服薬として優れたもので、又無刺戟性(シマズ がようない。 ないでは、ないでは、 ないでは、ないでは、 ないでは、 ないでは、

しての價値を更に高めるものであります。

しての價値を更に高めるものであります。

しての價値を更に高めるものであります。

しての價値を更に高めるものであります。

しての價値を更に高めるものであります。

しての價値を更に高めるものであります。

ロート目薬は井上獨逸博士が眼科醫學の純正な立場に於て先進各國のロート目薬は井上獨逸博士が眼科醫學の純正な立場に於て先進各國のロート目薬は井上獨逸博士が眼科醫學の純正な立場に於て先進各國の

結膜炎·結膜充血

をいる。 は刺す様な痛みがあり、又に刺す様な痛みがあり、又に刺す様な痛みがあり、又に刺す様な痛みがあり、又には刺す様な痛みがあり、又には刺す様な痛みがあり、又に刺すばない。 合が多く、黒目が輝ったり、白いほしが出來たりし合が多く、黒目が輝ったり、白いほしが出來たりした通りを言行すればよく、ロート自動の優れた清美に通りを言行すればよく、ロート自動の優別の東京といるのであります。要は大概經費の頃で述べた通りを言行すればよく、ロート自動の優れた清美に用は角膜の実践に続して極めて有効に働きその収得の域域に鋭って施設は多くなり、動脈作用でその整備は押へられるのであります。

い光線に動してはまぶ

結膜炎

初夏に

世界や・記憶・表響・調整などを続けることによっ 代人、残に都會に住む人々にこの報信をいるの 代人、残に都會に住む人々にこの報信をいるの です。寄供は服が飲みの事等の路に起る疾患で・近 力や記載力の破滅さへ皆ける様になります。この様 力を記載力の破滅さへ皆ける様になります。この様 が記状を自動した場合は決して放任せず、ロート目 動の知き戦闘の効果のある、正しい服科繁を一日戦 の知き戦闘の効果のある、正しい服科繁を一日戦 の知き戦闘の効果のある、正しい服科繁を一日戦 の知き戦闘の効果のある、正しい服科繁を一日戦 の知き戦闘の効果のある、正しい服科繁を一日戦 俗につかれ目と呼

新案特許 自動點眼容器

多い眼病の知識

生産合理化の結果





(七)

位本質品・産國良優署食洋の印ジツヒ

ンバカ

店應代洲浦

店商尾松 街店鎖連市亚大 春三七二二話職

とツク

球完敗

店商屋シット意味 市職施派田神和京東 市場施派田神和京東 市場海源東本級大 店支

額々敗ける日本

極東大會四日目

日本大敗

茶菓の接待

界各國

料品

御

挨

見科専門の診療に從事致し候私能



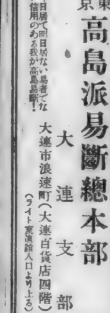
壁天井紙

Joy of the Taste みのさい波 潮 煮

鮮な材料と最上の調理で最高の美味 輕 あらめ細煮 0 角 煮 四五 · 六 0 主五

店





訪日民衆使節



絹ジョウゼット + 六日ヨリ 製品陳 … 於三階 列

首相

凱

將

兵接待

が安寺で

H

所時

主催

門汤】大相撲五日

八相撲五日目

美味

お酒

大二木養雄儀像で腎臓病にて大夫二木養雄儀像で腎臓病にて大

滿洲日報(廣告部)電話四四九一

加高

信講習









高

社報日洲滿 社會式株 所行事

對日諸懸案の解決 、互讓態度 爾話園ニ五七〇番 •

斯くも互譲的態度を執り初めたかについては我外務驚扇しその態意の那遇にあるかを注意してゐるが、驚扇の観測によって驚問題の解決、北道護避問題の解除失人心證經濟の大小諸經察の狀解作用が観着さなつた、耐してソ ヴェート側が最近に至り何故、東京特電十五日發』日蘇外交關係は處田外根の贅質なる手法により航火平常能緩和に響き来つたが、腑で源區入札問題、ペシー 鮴聯著しく その眞意那邊にあるか でてソウェート側が最近に至り何故常能機和に響き来つたが、就中流區入札問題、ペシ

た結び聯盟加入宣現を策じてゐる、然るにドイツ、ボーランド間に平和協定成立ずるや、俄かにボーランドに獨立專ら列國この不可侵餘約締結を外交上の主目標さして努力してゐる、このため米蘇の復交獲得、歐洲接集團こは十一次、五 ケ年計畫の完成により國力を充實するまでは絕對他國と爭はごる方針で、曹 ついにも一蹴された、加ふるに米國よりは債務關係で白眼

日六十月五年九和

東方の武力强化といふ根本方針を變更することは絕對に無く今後而來態感ぶりを見せた極東碳漿の腰を折り、對日至讓方針に暫じたものに過ぎぬ、雕つて蘇聯外

要す でいては凡ゆる 便宜を供 要す 、函館よりは自力によってな送り同地において蘇側に引き、ベシコフ丸は大湊より函館

(日曜水)

し近く無四次館間で

陸軍方面の意見

双方

歩も譲らず

打開點を發見せず

北鐵第三次中間會商

けさ來連の

四尾參謀長談

本では記載さの動話 いち満洲網がやるべきだ 記者 草 隙の平時給臭質施の時期 は決定したか 現に角給臭な平時化するために 現に角給臭な平時化するために は宮舎が要る、然と官舎ごころ か 兵舎 や 病院も出來てない所が 変いし、それた後草のやり繰でしたさか解へられ 究を要するのが事實だ

情政の近最

の如き政治は我間の回憶に

ショ運動排撃

領和外交よ、手管に心許すな。

ましたら、腰の底へ加らせて下され、離かしたにすぎなかった。りがおり

つてしまふなら、戻は、

● 数子尿道及膣用

男子慢性固疾用

ウラルゴール種類及定價

言 附 き時は實回の使用にて共に真く奏効すけ、その悪日にで、また感染後日尚ほ連ば、その悪日にで、また感染後日尚ほ連散防及び初感染用

滌、注入に數倍し、其の殺用は特積時間に於て普遍の

力は従來の内服、注射に比

故にウラルゴール一木の

の淋疾と雖る本療法に依直接的なれば、たとへ慢性

快治療を早からしむ。

管 子宫舞警及少女腱用 二十

0

歌がニヤニヤミ笑つて手を差

て縁子さんが、家出ななずつたん

「うむ、だいじょうよ。そんな脚 には 連び がいじょうぶ。そんな脚 にな がから

0

TE

A

ミカタ連ふアル」で来た。 に関連手だが「北平で関東は

はさ、工産は名刺を置いて繁盛さ 実態を繋すさ、最早何處に、続子 を求めてよいか、皆田見霊がつか

特別を弁明へ除つで、まだ能いて対由は、心からさう云つた。

費用の外交球策は、みなその B

邦男も、全く眩めく思いであつた ごうすれば、よいのか。村山も

・」さ、村山が様は云へないのなったいじょうぶだらうか。萬一…

發賣元

れの時は直接側註文を乞ふ

「大丈夫だよ。

政道正常化の躍進

資料蒐集に

宮島幹之助博士來滿

阿片に關する

奴隷解放に関したの如き諮覧の最近連署を以て同席警察署長

興安南分省管内の奴隷代表

解消を請願

行來滿

次の放尿時まで敷時間、尿道む粉末なるを以て之を挿入すれば

動にまで殺歯作用を替む。 粘膜細胞下に潜在せる慢性淋

内に於て徐々に溶解浸潤しつ」

▼その主薬 ウラニン銀の内容が

紫治、同農産部長秋山長城 養理事船田一維、同務事理 人港の香港丸で水連船中船 大港の香港丸で水連船中船

十五日午前十時補郷本社を訪問重十五日午前十時補郷本社を訪問重で八田訓練製、村上、竹田県東東交通監督部長大村卓一氏は たび事業貨の説明は勿論例:の食舗では消職な線、國線の管

室に丼を取寄せそのま、食跡を観り、如く、正午さなると共に食験を担います。 船田三菱理事

正面の時割は、

め十三名は十四日夜九時四十五分 | 東京十五日後國通 | 東京十五日後國通 | 衆議院清潔 衆議院議員團

が、かいのけながら、後草原山谷 ・嫌いのけながら、後草原山谷 ・様いのけながら、後草原山谷 町六五さ云ふ、山下さんの家に、 恰優四時半を示 「警視殿にでも頼んだ方がよかな

避ける等値めて常極的態度さなりと無して新聞記者さの含見を一切 立往生の黄郛氏 時着さ共に解釈未回復

時滅緩水社な訪問、正敵

ち聯歩した

動り場論の反對な極度に惧れる 用書館を譲後継続の優勢に滅れにつき離職するに、蔣介れにつき離職するに、蔣介

満洲國當局ソ

柳側に

最近黄氏に難じ日本側さの其他・ 衛生點視察團

愛の絆を選く(五)

「だって、

死の原因は少し

理想品なり

携帶至便、用法平易にて安全なる

運輸機關統一

機能をに至ったものである

問題協議

「東京十四日登園通」王選唐氏は ・ 中四日午後林陸根を訪問し北支骸が 王氏陸相訪問

命様な態態に動かされて、たちまな理験でも、出て來はもまいかさ 機械で機械の問から、綾子の無域、不安は、ます~~つのるばかり、

をあささきの場へしなく、ごこかであささきの場へしなく、ごこかであるさきの場へしなく、ごこか まつたのは、暖ごひ見たいだも「解らないよ。お世際の察進なん」をなないか」 「うむ。在の處へ行く前に、僕が」 だいじょうぶ。何處かで、働く

再资待許

ウラルゴー

ルの

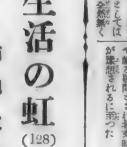
長は

上海の自邸に引籠る

生活

混亂豫想

北支時局の が、この無意味無誠意なる態度に では悪して北支時局を維持と得る では悪して北支時局を維持と得る



た。

任職にてして新撃費したるもの、慢性及初感染にその資糧を問ふために、警及品として特に関格を

尚は この三本入は豫防用としても 9先づ之にて御賞験の上、効力の認識を切望す。

ウラルゴール短管

三本入(クリーム)

使性症に

日軍總出動

季鬪は日本有望か

證明を求む

選するに至ってあるので、所 人は勝連後一画の取調べも行つて電々が此の機器側面を緩るス さ指名してある東支那人に就いて

選手替玉事件

極東大會第四

(且麾水)

自

折を競ら、単々が木堂

ンな公園なもつて支援ふ事になっ、大日では、飲べり記録は、一覧に飲むり、「食」を表すって支援がある。 はいった 代しの感を深からもめてゐる、絵郷の引下げな行ふ事になり本月上 何リの食味可のはますで、一月 観の明にげな行ふ事になり本月上 何リの食味可のはますで、一月 観の

州外チ



木堂翁の墓前に

一周年

た、執行猶豫の意典で昨

額づく大庭少尉

現れる人職させ が開記事によつ

几年度役員發表

保か養き立てることを夢じ握へ、ここの有意義の生活が幸福に るる、この無 あつたが左記の諸- 常選十五日製

犯者を檢學

注目される捜査の進展

イ事件更に

失败

聞くと見るとは大連ひ

液來少年歸國に

活躍中であつた小魚代長山大連港に於て吸り式変響の 百四十年)は个回遊く解れ港

用方殿

カ

ウ

ス

印

七間位から三十個位まで

ネ

ク

タイ

ピン

四風位から三十風位まで

石

大園位から五十園位を 七圓位から三十圓位まで 装身具大

天気予報

間に更い情を動り勢を織つた角繁 るから歐共能師はお集まりを乞ふれる「 の母園へ変ある凱旋形長を悪く 場に於て姿楽の総様をなす器であた。 が出年後一時よりご苦勢さき」のよりその気を纏ふため準強権内震 本日午後一時よりご苦勢さき」のよりその気を纏ふため準強権内震 ないまれる。 を取るが、 を取るが、 を取るが、 をなるが、 をななが、 をななが、 をななが、 をなるが、 をななが、 をななが、 をななが、 をななが、 をななななななななななななななななななななななななななななななな

白衣の勇士と共に

夏蜜柑を贈る 十七日は茶菓の接待

市内に潜伏中の

山東馬賊捕はる

が大連方面に相當入り込んである。百名は山東省電局の衛展的計画に通ばれた。の七名で戦か

した一味物

一味七名小崗子で一網

滿日婦人團の活動

E東の風晴一時風

大相撲六日目取組

トあつた



歓迎を受けました

職者の忠

ての何れかへ近々入籍

中なえ

凍豆腐販賣者

滿鐵運動會支部

問旗

中央国加尼

昭和九年五月十五日間此段及謹告候也開此段及謹告候也を殺左記に開業小兒科專門の診療に從事致これ 銷街廣小路(電氣

插八四 〇

痢症 業 ıŧ がずず 挨

糖衣 7 -12

春の御宴會は 星ヶ浦 電話九六三六番

小兒 越後町若狭町角(電六七五〇)

梶

連大一場工

六四三二二話電

きにないし

マリ賞

ふ退職金で

の税闘吏俄か成金

匪賊の殘黨が

である

たもの

を 日中における 技能 ものに表

形で聴がれてゐる電々會

金庫査せる

脳本税關長は廿五萬圓

運轉手でも八千圓とは

の第二歩さして意味勝貫の給臭、大興株が職本税酬長で二十五萬個があり歌がさしても結果の合理、大興株が職本税酬長で二十五萬個、

大連の追悼會 五十五二周年

漂

を田麓の個種

お花見を覘ふ

消人泥棒捕はる

片眼片院の潜せ派人さ、

大兵衛の艦に、

に小鬼が被つかつて、港の石垣

大江戸は、人間の港なのだつ

お錠口を違入つたお廊下のすぐ

盆興行目當てに松竹衣笠

日活伊藤兩監督が

天下に怖い者のない愚樂さん。解禮御免をきめ込んでゐるのが、

生活に緑の近いものである

手に出入りを許されない

怪談

て取り次いで、何人さいへごも

人映画と演藝。

港の棚は、何を漂はして來るか

明き潮、満ち潮……。 見下ろす人は、その代浦の潮に楽って、いろいろの物が流れ寄つて あるのか見るであらう。

大奥は物軍のはる。 お娘でこんな不作法な居すまひおしては、政務をみるお役所。 ぶらしい滅難を遭んでゐる。 いきいできながら、しきりに鹿

間の

港公

初めてスクリ



さした、その石垣の岸へ

間の港は、雨につけ、風につ

一番の夏川静江一票用館出が歌しく棒な幅で



大連では初めて



河合洋行

総権を持つてゐる南信次氏さ独紋常盤座では、んごメトロの滿洲配

常盤座が上映

自分の背中の、汚い古い茶頭の自分の背中の、汚い古い茶頭の 死にの願ぎなさせるやうな、ほかお侍さんの大勢に、こんな生

來る二十五日にり社の書 何ごいつて 、 関重考慮の上、また 水したら良いのかで目下 大きく云へば映墨園

後聞した蘇津東子が協議し

メトロ映画



製作することになった日 ワ社の招聘具體化す

日 映画で是地共来年新鶴の日本野切りに間に合ませたい意前なので先方の事情。 りに間に合ませたい意前なので際。 りに間に合ませたい意前なので際。 新興トーキー

ゼンキンス機使用

来の

●大幅がお金融行制切トーキーさ ルトーキーである、必然監督し自監督にる松竹が密員之明さ日活伊 あり、勿論ウエスタン式日活オーシー・シンナリオ執筆のブランを練るさ 夫人の戦地衆養光である田邊に越 竹フォーン全影像である 一戦を展開する――伊藤大輔監督 れば「四谷経護」で育名な伊有衛一戦を展開する――伊藤大輔監督 れば「四谷経護」で育名な伊有衛一戦を展開する――伊藤大輔監督 れば「四谷経護」で育名な伊有衛 なほりにく

傳明の渡米決定

賞品が谐るのだっ

阪東扇太郎・

忘

れて、緑土な砂で日前はつこれて、緑土な管野ない上げ湯に打ちあげ

(105)

15 d'as Cartination of the state of the stat 内外第一品

十六日より監 有閑未亡人の用心棒

*吾輩はカモであ *ゆりかで 新興キネマ超々 この明の大

七之助

*光內山·演丰回 一第社入子節忍舞等・作傑ため輯を粹の術藝畵映が督監男喜巳瀨及銳新・作原松小村北・載所場際大

!!んせまりあはで畵映並月 > のもれ入仕 > のもかい!!作名るれくてい導をタカアへ地境の我無の賞鑑畵映・演助・一新守日・子代千取香・子雪上井・雄秋野磯

道王れ護

切封日六十

最國建國洲滿●別特式兵觀大の初●映上

れあ用利御を券引割の行發店當

震子晶早千・夫敏林・耶二長林や愛麗郎・作原二寬山小・載所グンキ誌雑 た譚奇俠義烈痛の士劍名む絡に討仇の子孝たれらへ傳に問巷間年曆明・濱助・哲井坪・郎四重林小

けふ新京で創立總會

拓務大臣の訓示 地方長官會議で、

十九

意見書內容

らの諸城につき考慮された

右につき、共衆会々長奥田千之氏は

調の気運は昨春來急速に進み、清航路に於ける大汽は敵船さの

滿洲採金會社創立

同は生彩橋人祭 用は生彩橋人祭 奉天製麻活況

大豆軟調

商對策

會社の立場

むづかしい運用

ー関だつた。それが最近では大昭和製鋼所や端化などのメーカ 正面から反對の軸。あげたのは

實地踏査を主に 萬全を期す 滿鐵の收穫豫想調査

を練ったおきます。 を練ったおきます。

綿業最

同で資本は公帰二百五十萬圓、掘の一部を引受けてゐる

九〇 一七九〇 一七九〇

定期喰合高 (県四月) 定期喰合高 (県四月) 元九五五車 二九五五車 二八車 三三車 三三車 三三車 三三車 三三車 三三車 三十二十二五千枚

綿糸昻騰

白米變動

相場は

日六十月五

棉花會社の獨占に

仕滿同業者も反對

内地側の陳情運動と呼應し

一手買付見合せ建議

年九

レ外相 歡迎會

阪神大連航路でも

大汽、商船近く協定

具體案作成に着手

源五郎

◇定期前場 寄付高値 寄付高値

學 天 现 103、至0 10670

當市保合

三(西通入口)

肺門淋巴腺炎及義高不良呼吸器及消化器慢性病 **電話六五六五番**

医学博士 沿谷 副 学校前 X線完備 **血壓及婦人內科** 肋膜及慢性諸病

院長 鳴尾 直人

済生 大連市三河駅 大連市三河駅 大連市三河駅 大連市三河駅 大連市三河駅 大連市三河駅 大連市三河駅 大地市三河駅 大地市

話せかのか 四日市港

海嗎呀 医啡岸 治療開始

众征内

連鎖街の問屋大島屋 電二二100番

洋服務意義





令

長岡代表參內

有難き御言葉を賜はる

滿洲國視察印象

職要人職には大恐能を来して居る

藍衣社克服を圖る

先驅暗殺團の潜行

意見書を上程審議

文那政府提出の

のよりもに置からの原で、競技のであった。同片禁制の問題のでは、一般の一次の一次の一次では、一般の一次の一次の一次では、一般の一次の一次では、一般の一次では、一般の一般では、一般の一般では、一般の一般では、 十四日發國通十五日の

満洲郵便問題も併行審議

ラ氏報告と支那政府

除保い安一本日

祖始の險保率低

はまり奉天後の孫殿教堂において 指案前祭一回り歩は十五日午前九 指案前祭一回り歩は十五日午前九

警務指導官會議

きのふ奉天警務職請堂に開く

意見希望の際味わり午時の課意わり、午後は各場

意見希望の際職あり午時

憲兵養成所

近く吉林移轉に決定

で関税、終練術促進間壁に動して ・ 選に於いて議題さなった日佛互 ・ 関かれた大満洲鉄工会議所戦合

【ハルピン十四日養國通】昨年十 關稅問題協議

日

遊院は大正十年、山東流南に 横河において可成有力な 横河において可成有力な 地で、まだ戦の宗教ではないが 大変であるが前にがに触べることが が前にがに地でることが が前にがに地でることが が前にがに地でることが がある。 満洲の宗教

とこのは一枚の位体でから続って居ない、確保の本を説には常飲も新く、 を

文

の不注意に就て

信献の歌記郷備委員会は十四日常 でされることになった党山金融合 でされることになった党山金融合 金融合作社 克山に新設

烏蘇里河航路

マー・トーマス氏は去る二日軽減 を がでし、 がで

第冊技術の動では 事より控制的順二 では

大連市の時で、大連市の時代

を進へ十五日午前八時三十分新京 を進へ十五日午前八時三十分新京 下五名

滿技十

八日會

小林司令官

王氏首相訪問

空技術を中心とす

三毛少將巡閱

作ので本年からいよ〜定期銀行 にので本年からいよ〜定期銀行 でので本年からいよ〜定期銀行

の不振金な(月酸)銀な以て

後四時

続のぶ土ラス・ピハリ・ボース氏 (安夏特管十五日数)印度獨立漢

調

一個

生徒募集

近江川二南岩場映楽記は

慶清水式無清米零機

印度志士來滿

が海山場げてあるが、彼等は話

裏んで信着さなつた者であ

は譲つたのでなくもさいがあるらしく見えるへ

許特

皆好华僧

無適減加

(呈進書明義)

長特の型新最

電三六九五

く着手されることとなった

「防空」「要地防力

一一護れ土

奉天出發時刻

凱旋部

して順内材深の大きを及び分布。 は一般の基準制立に売めるの第一歩。と従来解へられてあた満洲画の人。にも少なからす質練するものさ助。軟合衡支部が整備されることにない。 地に入った清洲画はこれ等記書。 だいて整理中であるがこれによる。るのけて将来産業記書文化施設上、融合作社の総誌下にチチベルには 地下作を移へ整理文化施設の本。十餘颗の調査を完了計下総計念に、ち正確なる満洲画の画数が発明す。 管内板二十ケ所に設立し新京の金 を正作を移へ整理文化施設の本。十餘颗の調査を完了計下総計念に、ち正確なる満洲画の画数が発明す。 管内板二十ケ所に設立し新京の金 を表する。 北陸航空開始 十九日新京に於いて際催されること、なつたが治外域機能等、限 ・ はつたが治外域機能等、限 ・ はつたが治外域機能等、 ・ はつたが治外域機能等、 ・ に等業多の政治的緩緩的 ・ に等業多の政治的緩緩的 ・ に等業多の政治的緩緩的 ・ にのました代表して ・ にのました代表して ・ にのました ・ にのまた に開かれる金満居留民建會は来

五月 五 五月

午後七時よ

氏氏

和

五月

午後七時よ 午後七時 午後七時よ

大監 氏 氏

鈔票不變

米上院に提出準備中

○現物後場(単位 酒清

店商井

备九四六五話要

内鮮滿墨有名女具紙店及デバートに有 發養元 大阪市東區平野町二丁目

三五九〇

(=)

交通行政ご

插

說

今は或る優勝地な際にして他國

勿論それは内外人間の孰れにも

以て任する大衆の行動である。

概認な以て社交の定則さら、 昔 がた甚大だ。況んや東洋遺跡に から道路相談るこさの美風な吸

大衆常識

(版二第)

れば、萬事が飛躍的速度を以てれば、萬事が飛躍的速度を以て

層正確を期する

五

人口八

分布狀態の調査

を表すれて行った。その後所 は同十時三十分アルブスの範ョ ースを発破して富山に強着したと

居留民總會

映画の全場の

を開催致し 七日

19ますが其の一端として左記の日割により講演並に空演習の趣旨徹底のため我社は各種の計畫を順次遂

七日より州内各地で

五月

・吸び込まれて行った。その後瞬間である。 で不田飛行場を離陸、音空の波方で不田飛行場を離陸、音空の波方

防

空講演

映畵

會

さ思ふ程でわる。

◆父兄童は、磁験非蔵保護者 を対めつたが、父兄童なるもの を数を決験してある徹である の本質を決験してある徹である

◆父兄会の方で統立 技者が登校なりが 大きなり続いか、

父兄會の本質

保護者

當市弱保合 市 況

兵隊婆さんの秘書に

明朗な二人の女性

耕作組合發會式舉行

抗日義勇軍となり

満洲國のため働く

英雄を夢みる無智な青年

餘り騒ぐな 川上正金支店長談

北支の問題なぎ

、どの利害衝突を避けて

好適な移民地を設定



鐵嶺音頭を踊

瓦斯で窒息死亡

あるを以て滿寒節生係は徳出動に一日五名の患者を愛見、尚ほ顴葵の戯れ

他でる際天然意識者八名優見で 夢及の目的な以て満洲街な戸別 が南年回

綜合的設計及製作 東京 合資給木小松商店

大元 (大元) 大

時計を盗む

脚氣に二元療法

世を健康にする新良業イマツミンは何 等歌作用なく、戦略作用を察んにし り、不眠、食慾不振等を良くし病。 が、験に、食慾不振等を良くし病。 に時間一千餘圓の婦人用時歌十一 犯人は未だ連捕に至らない、被害が人は未だ連捕に至らない、被害が で一家出機つてゐた留守中何者 店方では十三日同業組合の家族 原本大統通り鈴木時

此の缺乏してゐるヴィタ ならない理屈である。而 ならない理屈である。而 ならない理屈である。而

別居したら亭主を捨てる 捨てられたら姦通の告訴

娠脚氣、血脚氣、乳兒脚気、文研藥用胚芽が一般脚氣、

不況の生んだ浅間しい話

奉天の銀座街に

大アーチを建設

春日町内會で計畫

さ人継じて正式の夫婦さなつて雑 古(*)は十年前きみよ(*)さ指統 參事官 行無事

魔の庭球コート則き等を行え 実験奥午後は鞍山時局婦人会認識祭、十時より記念式及の 記職祭、十時より記念式及の 記職祭、十時より記念式及の に 機関子分配記念式 満一周年

鞍山の市場通 延長に決定

勝旗獲得

鞍山軟式野球大會

製鋼研究所

のオーリにB邸二十四チームA邸九チー 機会主い世の中である

「職山」俗に市場通りで横でもれて、一十三日午前四時七分着列車で設まします。 「大田子会」 「大田子会

| | 選長型にいる | 選長は、 | では、 | では、

来皇際に提問監視所を設置するこれ支の容輪入が厳増したさいふ

※を示したハ く北平に赴く旺 三日の職業量入りの際、実然 三日の職業量入りの際、実然 三日の職業量入りの際、実然 三日の職業量入りの際、実然 三日の職業量入りの際、実然 コンカン 製場に出演中、土

学が上つて治癒するに到ります。 本剤を途布すれば一日一日と分泌が乾慢性の皮膚病には手を焼くものですが

をあられ、白十字堂語

光榮にたぶ感激 上田民間代表歸る

あるので町内倉がこれ等の全部

一近代的**厨房設備**から!!

井戸浚ひの人夫

梨樹縣の

天然痘檀發

救ひ入つてまた窒息

を記され、 を記され、 の経験日職祭日に映り往後二割りの経験日に映り往後二割りの経験日に映り往後二割りのにかない。 が車割引の电談があったので配窓 の経験日であったが歌勝維持動から であり小眼はからの離首山遊覧者を優待すべく 國線路警採用

龍首山は上

第一年名響で乗る二十日總尉にお 「大り内八十名は完備監護後書」 「採用すること、と四十名は一般 「採用すること、と四十名は一般 「採用すること、と四十名は一般 「採用するごと、と四十名は一般 「採用するごと、と四十名は一般 「禁力機用、「既に四、五百に率する」 「大力機関」といる。 「大力性関係」といる。 「大力性関係。 「大力性関係。 「大力性関係。 「大力性関係。 「大力性関係。

汽車賃割引

であり二割川箕施は近く

東邊道縱貫鐵道

奥地も呼應

寬甸縣安東ご提携

龍首山遊覽者

の出來築えである

満人の 仕業 ではないかで 思ひ思ひこんで持つて行つたもので 爭論して刺殺

経常しその場より逃亡したので獲したので獲し

たりからあらはい

ばその後でよい

てゐます。一見

まずに飲む ごはんを嚙

名画

「キリストの

ジオツト作(12

十五個の極級来

つりました。献は上下各々の残生ですが最近おかゆからごはんにう

も

えてゐますのに少し

相常用なきかせ 日本数のパナマ

典さまの知識

これだけは是非ご注意下さい 學童を持つ親たちへ

すったりは幾分ねいて角をさつて か合せ、かは



疼痛を感じる 脾腹から腰へ

げたりませるとたりする場合にと なのばしたり強したり前後に曲 なのばしたり強したり前後に曲 うか?よき療法御教示順ひます~ と疼痛を感じますが、何で

の悪化が搭来された。 ちれて本たので、思様果によ

運動競技の















ヲドリ

學



ハンドバック、帰焼の傾はもう夏 すのお着附 で軟線を路について調べて見 劇場と流行 世界・空の旅 プア

年によって楽色が根盤流行する (三) 梶 軍者政の趣味に会 吉

た時代もあつた。

文化から天保にかけては茶色が 大に流行し、その色の名も十数種 を その後、 要太際 京都の北野で大衆の 京都の北野で大衆

主旗の意味で、茶色の

ツク(四分)抽

おかはりをする。 どりこのの

博士創製の

健康增進 スピーデーな滋養と 近代的な高級清凉飲料です 奏を含み、どなたにも大量美味しく召上られ、の主成分は葡萄糖、果糖で、更に其の他の高音 通思した祭養飲料です。 お子様の發育にお年寄の榮養に 御客様の御接待に トな味覺を兼備した 榮養飲料

を精小學校の領口被長は次の諸點に就いて話さい 会立と果つた諸注意が是非必要になって参り をれるわけですが、學童を持つご家庭でも情 がに夏を迎へてもまつた満洲では色々の方面で

での警告生活から解放された反動の との警告生活から解放された反動の をの警告生活から解放された反動の に御注意願ひます 是非更化させないや

です、大は影めて裸盤生活なお臭いの水を否ませるやうにして欲しいの 生水をかり機能が非常に ますが水道の水は生水の

若葉 かげな往くせルの草 子サッソウは快遊の殴りです 様に発無しにしてしまいます。お

早くし戦機なストじた人邀の領上に

◆送早~夏を続

の安い監等からス

きうに敬せられて

トさ共に大衆向

でせう。一番モダ

此の放演館なつくる結果さもなり をなざ一人で倒な歩かせる事など をなざ一人で倒な歩かせる事など

帽子店のショー

本型ですがオール

ーイには裏ばれる 過ぎてゐる位い

(戦能の学和、マッサージ等も有 は電無療法、芥子泥等の軸転性 験去することが楽。です。原法

模範ユニホー

響の診察を受けてその原因

乏人の道樂にすぎなかつたので

パートや市内

ンで新しいものさ

うに思はれます 坐骨神經痛のや

く球のこさて我が同では、ゴロ打たれて地上を作々さしてゆ はせるやうな俗受けのする グラウンド・ルー グランド・スタンパクてゐる

純技者に適用する規則をいふ ル(野球) 試合競技場内で

季段

日

ンピネーションはこな用ひ又夜中いのですから腹部をさせるか、コ腺因で色々の病気の起る場合が多

セルの單衣の着付

つたりと

先づ曲線第一主義

て置いて欲しいと思ひます、次は ち行みごろことう。それから子供

をせる事が動でせず、それで開 を持つて唇ますが要は戸外生活が多く後つて唇ますが要は戸外生活があるばかります。更び食びが

たいではいます。御飯にはご このかくれる程度にはしよりたいかではいいではいます。御飯にはご このかくれる程度にはしよりないのないのではないができゅつと ひれりひとります。単表はかができゅうと しんれてやります。単表はかができゅうと

であるが、平安時代には愛藤小野であるが、平安時代には愛藤小野である地味が野遊するさ地に、 大に世間に持てはやされて來たの

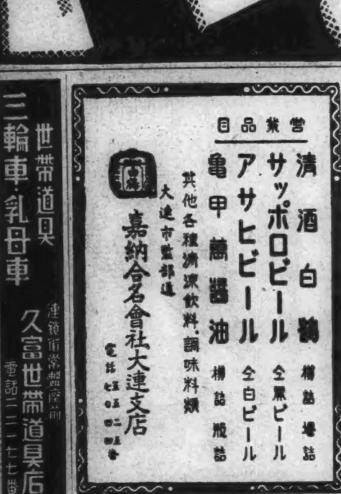
するに致った。

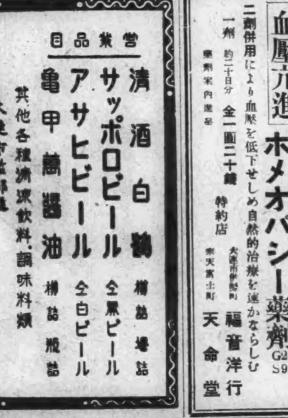
豊公のお氣に入りであった茶人 東京支社 書籍相談部

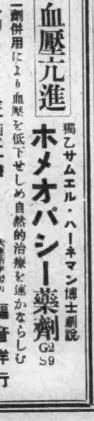
生之藥

大谷養商店

會或餘譽中田







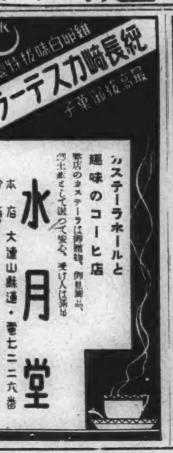


NO.3











場の寬ろぎに朝晩の

(可認物便鄭陽三第)

(129)

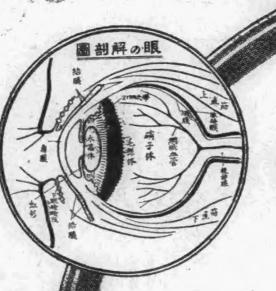
Ł 大

古 支 最假

七 邊村

英芳 ま 夫勝

日



處土博逸獨 導指士博學藥尾中

しき眼科薬

ロート目奏は井上獨逸博士が眼科醫學の純正な立場に於て先進各國ので見楽学はお世にもので、凡を眼病の治療に必要な諸作用は之を合理的になるを受けなが、前記の「正しき眼科楽」としての特性を具備するのみならず、保有し、前記の「正しき眼科楽」としての特性を具備するのみならず、保存し、前記の「正しき眼科楽」としての特性を具備するのみならず、保倉をではお世による製薬の嚴正は、ロート目薬が高級眼科楽としての情値を更に高めるものであります。 目薬の性能

角膜炎 大されているけられない。 を目かせ無なを止める。 で変症を散らし、検験を で変症を散らし、検験を で変症を散らし、検験を で変症を散らし、検験を で変症を散らし、検験を で変症をなるのであります。 でするのであります。 でするのであります。 などと呼ばれ、駆動の などのであります。

適

角膜炎·眼瞼縁炎

疲勞眼·學校眼炎

結膜炎·結膜充血

應

俗種のほせ目、はやり目、血目

くもり目、はれ目、かわき目等 たどれ目、やに目、雪目、こり目 麥粒腫・涙囊炎等

角膜翳・トラホーム

結膜炎

い光線に動してはまぶしく一キ腫れがひどく時には刺すり の分泌、眼瞼の腫脹等ですが 経験炎といふのは結膜、 をに目、はれ目、ち目等と呼 やに目、はれ目、ち目等と呼 をに見、はれ目、ち目等と呼 様な痛みがあり、又 い内は結膜の充脈、

はれるもので、これは長時間後密な代表が表になります。 宗成は野が野がの変勢の為に思る疾患で、近れるもので、これは大きになります。 宗成は野が野が野がの変勢の為に思る疾患で、近れるもので、これは大きになが、大きになったがで、大きになったがでは、大きになったがでは、大きになったがでは、大きになったがでは、大きになったがでは、大きになったがでは、大きになったがでは、大きになった。 この様の の 如き 散説の が果の ある、正しい 眼科学を一日散の の 如き 散説の が果の ある、正しい 眼科学を一日散の の かまり はれるもので、これは、大きになった。 この様になります。 この ことを表表することを思うない。 この ことを表表することを思うない。 この ことを表表することを思うない。 この ことを表表することを思うない。 この ことを表表することを表表することを表表することを表表することを表表することを表表する。 ことを表表することを表表する。 ことを表表することを思うない。 ことを表表する。 ことを表表まする。 ことを表表する。 ことを表表する。 ことを表表する。 ことを表表する。 ことを表まする。 ことを表まする。 ことを表まする。 ことを表まする。 ことを表まする。 ことを表表まする。 ことを表まする。 ことを表まする ことを表まする。 ことを表まする ことをまる ことを表まする ことをまる ことを

で便利、配生、經濟を乗ねた最新式 の上のゴムを軽く押せば日楽は一臓 で、出ます。薬が少しる無駄になら が、出ます。薬が少しる無駄になら

初夏に多い眼病の知識

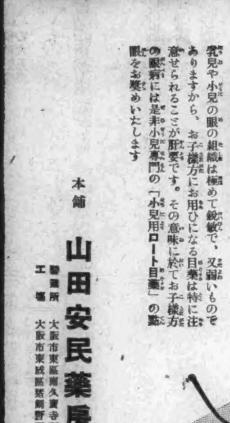
た通りを責行すればよく、ロート目標の優れた消炎 作用は角膜の炭壁に転して極めて有効に働きその枚 が作用と相撲の変壁に転して極めて有効に働きその枚 数作用と相撲ので確談は少くなり、魔爛を膨し、炭 変情は潤くられるのであります。 合か多く、黒目が適ったり、白いほしが出来たりし合か多く、黒目が適ったり、白いほしが出来たりし合か多く、黒目が適ったり、白いほしが出来たりし

新案特許 自動點眼容器

生産合理化の結果

樂價低度





小兒の眼病に就いて

ハルビン潜行の大連署警部連

見事金的を射て歸る

新京神社春祭

喜びの色に映え

團の凱旋

四尾参謀長も見送る

極東大會三日目

に開始したが比略左のスコアでス

極東大會四日

雨でお洗れか

支那のインチキ

委員會で取調べ

一點を慎込み、結局

一大観されて 前印庭球 [マュラ

本日までに比島県後南武合を通じ

絹ジョウゼツ

製品

+六日ヨ

供服陳





京東高

島派易斷 總

大連市浪速町(大連百貨店四階) 本部

い信用のある我が高島易断!

本各地名產

慶、立教に勝つ 『東

壁天井紙

沖のさい波 瀬 煮 鮮な材料と最上の調理で最高の美味 しぐれ あらめ細煮 0 角 三五 四五 六0

学松本紙店へ大連市伊勢町四〇

Joy of the Taste

大山通 宅

世界各國酒類· 店

食料品

川兒蘭

見科專門の診療に從事致し候私儀

の西尾参謀最も乗艇、一同戦校上、見選市民な代表して戦送の静を途一一路放開へ随つ戦、高勝中戦それに十五日順響連一る、かくて定頼三時、小川市最は、かくて凱旋野士の政策長、小川市最、高田融資館)シャンパンの恋をあげて別変を要いなて、高級の政策長、小川市最、高田融資館)シャンパンの恋をあげて別変を要いなって、高級の政策を表し、

愉快に打寛いだ

團幹部歡迎宴

殆んど不可能な事

電々會社某重役語

昨夜遼東ホテル

に努めた結果

女中自殺未遂

虚業家續出

當局嚴重に取締ら

店キンイ木輪京東

店理代溯滿 店商尾松

食洋の

が四時を打つ時針の音を

極が響音順の

滿洲日報(廣告部)電話四四九一番

男女優募集

譽 · お酒 商內宮業

せいしのですなし

に謹告仕候 三時十五分死去仕候關此段生前导知各位院に入院加療中の職業石無効十五日午後 大三木義。住儀豫て腎臓病にて大速醫













